

報道関係者各位

EBI-2016-058

2016年10月06日

株式会社イーブックイニシアティブジャパン

**雑誌「ダ・ヴィンチ」の人気連載「走れ！トロイカ学習帳」と eBookJapan がコラボ！  
北尾トロが自著『ヒゲとラクダとフンコロガシ』を自分で電子書籍化し、発売！**

マンガ No.1 (※1) の電子書籍販売サイト「eBookJapan」を運営する、株式会社イーブックイニシアティブジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小出斉（こいでひとし）、以下 eBookJapan）は、株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹）が発行する雑誌「ダ・ヴィンチ」で連載中の「走れ！トロイカ学習帳」（北尾トロ）とコラボレーションし、企画内で取り上げた電子書籍を先行配信します

**『ヒゲとラクダとフンコロガシ』  
『季刊レポ』配信開始!**

私(北尾トロ)が自分で作ってみました。

**電子書籍を**

著作を自身の手で電子書籍化する...  
その難題?に挑んだ成果をここに配信!  
悪戦苦闘の様子は  
『ダ・ヴィンチ2016年11月号』  
『走れ!トロイカ学習帳』に掲載!

私が作りました!  
長野県松本市の北尾トロ(58)

北尾トロが手掛ける「走れ！トロイカ学習帳」は、本にまつわるさまざまな話題や謎を調査研究し、実践的に学ぶという趣旨の人気連載です。雑誌「ダ・ヴィンチ」11月号（2016年10月6日発売号）では、実際に北尾トロが自著を電子書籍化する様子がまとめられています。この企画で電子書籍化された『ヒゲとラクダとフンコロガシ』（中川カンゴローとの共著）『季刊レポ』（vol.1～4）の計5冊の販売を開始いたします。



「ダ・ヴィンチ」11月号（10月6日発売号）

<http://www.ebookjapan.jp/ejb/358578/>

【本件についてのお問い合わせ先】 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 広報担当：木元

TEL：070-1467-4092 FAX：03-3518-9131 MAIL：[pr@ebookjapan.co.jp](mailto:pr@ebookjapan.co.jp)



『季刊レポ』(北尾トロ)

vol.1のみ100円(税別) vol.2~4は300円(税別) 以下続刊

<http://www.ebookjapan.jp/ejb/381543/>

自分たちで書く場を作ってしまったという主旨のもと、ライター・北尾トロが2010年9月に創刊した雑誌で、2014年6月の最終号まで20冊発行されたノンフィクション専門誌。廃刊とともに在庫が処分され入手不可となっていたが、読みたい、読ませろ、の声に応えるべく、電子書籍化に踏み切りました。その後単行本化もされた『国連で働いてみました』『チーム・マダム ～最強コンビ伝説～』の原型も収録されています。



『ヒゲとラクダとフンコロガシ』(北尾トロ・中川カンゴロー) 500円(税別)

<http://www.ebookjapan.jp/ejb/381544/>

電気もガスも水道もないインド西端のバルナ村。マハラジャの家臣を名乗る誇り高き砂漠の村に、初めて訪れた外国人となった、北尾トロ、カメラマン中川カンゴローの滞在記。

◆北尾トロ プロフィール

1958年、福岡県生まれ。ライター。著作に、『裁判長!ここは懲役4年でどうすか』『猟師になりたい』『テッカ場』『駅長さん!これ以上先には行けないんすか』など多数。

eBookJapanは今後も多くの電子書籍作品と出会い、楽しんでいただけるような企画を用意してまいります。

■eBookJapanの主な特長

- ・世界最大級のマンガ作品数をはじめ、48万冊を超える“充実のラインナップ”
  - ・購入した作品は複数端末(\*)で楽しめ、My本棚は“背表紙表示”も可能
  - ・手軽なブラウザでも、ダウンロード後はオフラインでも楽しめる“高画質リーダー”
- \* WindowsPC、Mac、iPad/iPhone/iPod touch、Androidに対応。

■株式会社イーブックイニシアティブジャパンについて

2000年に「SAVE TREES!」を合い言葉に創業した電子書籍業界の老舗です。2011年に東京証券取引所マザーズ市場に上場、2013年に東証一部へ市場変更。(コード:3658 “365日ハッピー”)2016年9月より、Yahoo! JAPAN

【本件についてのお問い合わせ先】 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 広報担当:木元

TEL:070-1467-4092 FAX:03-3518-9131 MAIL:[pr@ebookjapan.co.jp](mailto:pr@ebookjapan.co.jp)

グループの一員となりました。

コーポレートサイト：<http://corp.ebookjapan.jp/>

電子書籍販売サイト：eBookJapan (<http://www.ebookjapan.jp/ebj/>)

※1 有料電子コミック利用者の「電子コミックの購入先」（複数回答）において最も利用者の多い電子書店となりました。

出典：インプレス R&D インターネットメディア総合研究所「電子コミックビジネス調査報告書 2012」3.5.2 電子コミックの購入先 (P.76)